抑止力の強化に向けて
同盟国・同志国との戦略的な訓練を活発化

各党の総裁・代表選挙が行われ、自民党の総裁は石破茂衆議院議員に、立憲民主党の代表は野田佳彦衆議院議員になりました。そして石破自民党総裁は、10月1日、第１０２代総理大臣に就任しました。国民の関心が総裁・代表選挙に集まる中、9月6日には岸田文雄総理大臣（当時）が訪韓し、尹大統領との首脳会談を行いました。また、22日には訪米し、国連総会に出席するとともに、米国バイデン大統領との首脳会談を行いました。木原稔防衛大臣と上川陽子外務大臣（いずれも当時）も、8月20日にデリーで日印外務・防衛閣僚協議（２＋２）を行っています。自衛隊では、9月5日にメルボルンで日豪外務・防衛同盟国や同志国との連携を強化するための戦略的な共同訓練が実施され、戦後最も厳しいとされる安全保障環境において、抑止力の強化に向けた不断の努力が続いています。

日豪伊独仏共同訓練（海自Web）

日豪伊独仏共同訓練

海上自衛隊は8月27日から29日の間、関東南方から沖縄東方の海空域で日豪伊独仏共同訓練（ノーブル・レイブン24－3）を実施しました。

「オーストラリア海軍、イタリア海軍、ドイツ海軍およびフランス海軍と共同訓練を行い、自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた連携を強化しました。

この共同訓練には、海上自衛隊から護衛艦「いずも」「おおなみ」、潜水艦、そしてＰ－１哨戒機が参加。

豪海軍からは駆逐艦「シドニー」が、伊海軍からは空母「カブール」、フリゲート艦「アルビーノ」、哨戒艦「モンテクッコリ」が、独海軍からはフリゲート艦「バーデン・ヴュルテンベルク」、補給艦「フランクフルト・アム・マイン」が、仏海軍からはフリゲート艦「ブルターニュ」が参加しました。

なお、伊海軍の空母打撃群が日本に寄港したのは初めてです。

また、伊海軍は哨戒艦「モンテクッコリ」をわが国周辺海域に派遣し、8月下旬から9月上旬までの間、国連安保理決議により禁止されている北朝鮮籍船舶の「瀬取り」を含む違法な海上活動に対して、同国として初めてとなる警戒監視活動を実施しています。

日伊防衛大臣のワーキング・ランチ

8月27日、木原稔防衛大臣（当時）は訪日中のグイド・クロセット・イタリア共和国国防大臣との間でワーキング・ランチを実施しました。

この際、木原防衛大臣は伊海軍軽空母「カブール」の寄港に合わせて、クロセット国防大臣が訪日したことは、イタリアがインド太平洋地域を非常に重視している表れであり、心から歓迎すると述べました。

また、両大臣は10月にイタリア・ナポリで行われるG7国防相会合の成功に向けて協力することで一致するとともに、日伊防衛協力・交流のさらなる深化に向け、一層緊密に連携していくことでも合意しています。

なお、日伊は、近年「グローバル戦闘航空プログラム（GCAP）」をはじめ、艦船の寄港や航空機の相互訪問、共同訓練の拡大、物品役務相互提供協定（ACSA）の交渉開始など、防衛協力・交流が深化しています。

陸自はインドネシア

陸上自衛隊は「自由で開かれたインド太平洋」の実現に一層寄与すべく、8月26日から9月6日の間、令和6年度米・インドネシア（尼）軍などとの実動訓練（スーパー・ガルーダ・シールド24）に参加しました。

本訓練は、尼国で実施されるインド太平洋地域国を主体とする多国間共同訓練です。今回の訓練には、米軍、尼軍、豪軍、英軍、シンガポール軍が参加しています。

木原防衛大臣とクロセット国防大臣（防衛省X）

中国機による初めての領空侵犯

防衛省は8月26日、中国のＹ－９情報収集機が同日11時29分から31分にかけて、長崎県男女群島沖の領海上空を侵犯したと発表しました。

これに対し、航空自衛隊は西部航空方面隊の戦闘機を緊急発進させ、通告と警告を行いました。

中国軍機による日本領空侵犯は初めての事例です。

Ｙ－９情報収集機（防衛省X）

木原防衛大臣は記者会見で「8月26日に発生した事案は、領空侵犯であり、日本の主権に対する重大な侵害であり、安全を脅かすもので、受け入れられない」と述べ、中国政府に対し厳重に抗議し、再発防止を強く求めたと述べました。

中国外交部は、27日と28日の記者会見で領空侵犯の意図はないと発表しましたが、防衛省は今後も中国軍の動向を注視し、警戒監視を続けるとしています。

なお、陸上幕僚長・森下泰臣陸将は9月3日から6日の間、本訓練に合わせて尼国を訪問し、マルリ尼陸軍司令官との懇談を行いました。

空自はオーストラリア

7月12日から8月2日の間、航空自衛隊はオーストラリア・ダーウィン空軍基地で行われた多国間演習ピッチ・ブラック24に参加しました。２０２２年に引き続き２回目の参加となる本演習ではＥ－７６７を豪州へ初展開させたほか、Ｆ－２戦闘機による爆撃訓練を豪州で初めて実施しました。

また、宇宙分野を担任する隊員もオブザーバー参加しました。

7月29日から8月1日の間、航空幕僚長・内倉浩昭空将が訓練を視察し、隊員を激励したほか、日米豪比4カ国空軍参謀長等会談および日米豪3カ国空軍種間の訓練に関する文書の署名式を行いました。

過去最高の8兆5389億円
令和7年度防衛関係概算要求

防衛省は8月30日、令和7年度の防衛関係予算の概算要求の内容を公表しました。複数の小型衛星を連携して情報収集するシステム「衛星コンステレーション※1」を構築する費用などを盛り込み、防衛力の抜本的強化の3年目となる要求額は、8兆5389億円と過去最高となっています。

木原稔防衛大臣は、8月30日の防衛省内の会議において「令和7年度は防衛力整備計画の3年目になります。これまで、防衛力の抜本的強化は、概ね順調に進捗していると評価していますが、引き続き、わが国の防衛力、抑止力の更なる強化に向け、気を抜くことなく、必要な事業を着実に、そしてスピード感をもって実施していかなければなりません」と述べています。

以下、その概要です。

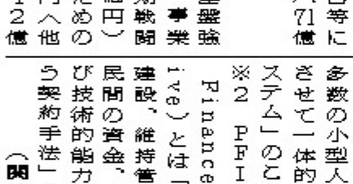
木原防衛大臣出席の下、概算要求を決定（防衛省Web）

○スタンド・オフ防衛能力

12式地対艦誘導弾能力向上型の取得：地上発射型（２式：１８０億円）、艦艇発射型（１７０億円）、潜水艦発射型誘導弾（30億円）などを要求。

○統合防空ミサイル防衛能力

イージス・システム搭載艦の整備に伴う関連経費（８０８億円）。太平洋島嶼部における警戒監視体制を構築するため、遠隔操作機能を有する移動式警戒管制レーダーを北大東島へ配備するため移動式警戒管制レーダー（ＴＰＳ－１０２）の取得（79億円）などを要求。


衛星コンステレーションによる画像の取得（イメージ）（防衛省Web）

○無人アセット防衛能力

洋上における情報収集・警戒監視を強化するため滞空型ＵＡＶの取得（機種選定中）。水上艦艇の警戒監視・情報収集能力を向上させるため、艦載型ＵＡＶ（小型）の取得（37億円）などを要求。

○領域横断作戦能力

令和7年度末から衛星コンステレーションの構築を開始（ＰＦＩ方式※２）（３２３２億円）。ＡＩを活用したサイバー領域における意思決定支援システムの整備（41億円）などを要求。

○指揮統制・情報関連機能

抗たん性を強化させるとともに、ＨＧＶ（極超音速滑空兵器）などの新たな脅威への対処能力を向上させた次世代ＪＡＤＧＥ（仮称）を整備（１２６億円）。

情報共有機能を強化し、各自衛隊の一元的な指揮統制を可能とする防衛省クラウド（仮称）の基盤整備（９６５億円）などを要求。

○機動展開能力・国民保護

南西地域等の広大な空域において戦闘機等が粘り強く戦闘を継続するために空中給油・輸送機（ＫＣ－４６Ａ）の取得（４機：２０６８億円）。南西地域の島嶼部へ部隊等を輸送する海上輸送力の補完のため、車両およびコンテナの大量輸送に特化した民間船舶を確保（ＰＦＩ方式）（６隻：５０９億円）と、これまでの２隻に加えて８隻の態勢。

○持続性・強靭性

自衛隊の運用を円滑にするため、弾薬・燃料の確保、可動数の向上（部品不足の解消等）、施設の強靱化（部隊新編などに伴う施設整備等）、運用基盤の強化（製造体制の強化等）を図ることが重要として、部隊改編等で使用しなくなった装備品のうち、まだ能力発揮し得る装備品について、管理コストを抑制しつつ長期保管を行い、必要に応じ部隊に補充の保管を開始（令和7年度：74式戦車、90式戦車、多連装ロケットシステム自走発射機（ＭＬＲＳ）（７億円）。既存施設の更新（３２５５億円）、主要司令部等の地下化等（９３２億円）、火薬庫の整備（３５８億円）などを要求。

○人的基盤の強化

自衛隊の任務遂行を支えるため、人的基盤の強化（人材の確保、処遇の改善、民間人材の活用等）、衛生機能の強化などの各種施策を推進していくことが必要として、地方協力本部の体制強化（15億円）。自衛官等の給与・手当等の見直し。

※１ 衛星コンステレーションとは「一定の軌道上に多数の小型人工衛星を連携させて一体的に運用するシステム」のこと。

※２ PFI（Private Finance Initiative）とは「公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う契約手法」のこと。

（関連記事3面）

第1期安全保障戦略課程入所式

入所式において訓示する木原防衛大臣（防衛省X）

9月2日、防衛研究所（今給黍学所長）で、木原稔防衛大臣および増田和夫防衛事務次官などが出席して、第1期安全保障戦略課程の入所式が行われました。

安全保障戦略課程は、国家安全保障をけん引する高い戦略性を持った者を育成することを目的として従前の一般課程を引き継ぎ新設された課程で、同日から令和7年6月30日までの約10カ月間、防衛省・自衛隊のみならず、他省庁、民間企業および諸外国からの留学生が一堂に会し、安全保障問題の総合的理解力と教養を付与する研修です。

防衛研究所では、今までも国家安全保障ストラテジストを養成することを目標に、戦略実現能力の向上等を重視した教育を実施してきましたが、今回からその戦略性をより一層向上させたカリキュラムを追求・展開し、課程名もこれまでの一般課程から安全保障戦略課程に変更したとのことです。

能登半島地震災害派遣終了
8カ月間の災派任務を完遂

元日に発生した能登半島地震に伴う災害派遣が、8月31日をもって終了しました。派遣は240日を超え、福島第一原発事故による除染作業を除いて、最も長い活動となりました。

地震は元日16時10分に石川県志賀町で震度7を観測し、同日16時45分に馳浩石川県知事から陸上自衛隊第10師団に対し災害派遣要請がありました。また、4日には新田八朗富山県知事から給食支援の要請があり、富山県での活動は9日に終了。以降、石川県での活動が続き、8月31日22時に珠洲市での入浴支援活動をもって完了、派遣部隊は9月2日に原隊に帰還しました。

木原稔防衛大臣は記者会見で「道路網が寸断された被災地で、8カ月間にわたり114万人の隊員が捜索・救助や生活支援に従事し、自衛隊の災害派遣として過去最長の活動を行いました。隊員とその家族に感謝の意を表し、引き続き被災地の復興に協力する」と述べました。

住民の見送りを受け撤収する災派部隊（防衛省X）

以下、活動の概要です。

- **人員**：延べ約114万人（最大時約1万4千人態勢）
- **航空機**：延べ約4600機（最大時約110機態勢）
- **車輌**：延べ約350輌（最大時10輌）
- **統合任務部隊を編成**（1月2日～2月2日）（編成解除後は陸自中部方面隊を中心に活動）
- **即応予備自衛官、予備自衛官の招集**（1月8日～2月2日）（即自：約180人、予備自：約20人）

◇抑止力の強化に向けて
◇回想「令和6年能登半島地震発生」
◇7年度防衛省概算要求
◇特集「衛生機能の変革」
シリーズ企画
自衛隊を動かすMC（第5回）、米国事情（第36回）、歌壇・俳壇、健康の扉、シニアの鉄人「『不老の剣』を目指して」、家族会長等奮戦記
8面 7面 6面 5面 4面 2面 8面 3面 2面 1面

発行所
公益社団法人 自衛隊家族会
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町5-1
(TEL)03-5227-2468
(FAX)03-5227-2473
購読料１カ月一部110円
ウェブサイト
http://www.jkazokukai.or.jp/
メールアドレス
jkazokukai@jkazokukai.or.jp

YouTube
自衛官募集チャンネルにおいて動画公開中！
【自衛官募集ホームページ】
http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanboshu/

第３回一般曹候補生採用試験のご案内
各部隊の中核を担う自衛官になる。
現場の部隊で自衛官として長く活躍したいという方にぴったりの制度です。
選抜試験を経て、幹部に昇任することもできます。
○受験資格
18歳以上33歳未満の者
○受付期間
R6/10/1（火）～11/28（木）
○１次試験日
R6/12/7（土）～12（木）
（内１日）

陸上自衛隊 高等工科学校生徒（推薦）採用試験のご案内
最先端の科学技術につながる教育を受ける。
充実した学習環境で、高度な専門知識と逞しさを持つ人材を育成。
質の高い教育内容を通して、識能（スキル）と資質（マインド）を育てます。
○受験資格
15歳以上17歳未満の男子で、中学校長等が推薦できるもの。
○受付期間
R6/10/1（火）～ 11/29（金）
○試験日
R7/1/11（土）～13（月）
（内１日）

※受験資格、試験内容等の細部については 自衛官募集ホームページより最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせください。

防衛大学校の魅力を肌で感じる
第72回 開校記念祭
11月9日（土）・10日（日）

開校祭 観閲式

開校祭 棒倒し

入試相談会

【観閲式】
総勢1,500名の学生が、学生隊学生隊長の号令に応じて一糸乱れぬ動作を披露します。

【棒倒し】
旧海軍兵学校の伝統を受け継ぎ、防衛大学校創設以来（昭和29年）行われてきた伝統ある競技会です。1チーム150名で、攻撃と防御に分かれて相手チームの棒を30度傾けたチームが勝ちとなります。

【入試相談会】
防衛大学校の入試制度を説明します。防衛大学校の学部や学科に関する質問のほか「総合選抜は何を行うか」「試験の具体的な出題範囲」といった入試に関する具体的な質問にもお答えします。

開校祭に先立ち、11/4（月・祝日）にメタバース空間（自衛隊メタバース基地）において開校祭紹介イベントを予定しています。

自衛隊メタバース基地　開校祭特設サイト

防衛省共済組合直営施設　ホテルグランドヒル市ヶ谷
婚礼紹介キャンペーン
ご婚礼を予定されている方をご紹介してください

ホテルグランドヒル市ヶ谷公式ＨＰよりご紹介いただいた方が挙式をお申し込みされた場合、ご紹介者様・挙式予定者様へそれぞれ、下記のいずれかひとつを進呈いたします。

★ご紹介者様への記念品（10,000円相当）	★挙式予定者様への記念品（10,000円相当）
JCB ギフトカード	JCB ギフトカード
ホテルグランドヒル市ヶ谷利用券	当日プレゼント（花束）

【記念品進呈条件】
①ご結婚予定者入力完了後の契約に限ります。
②ご紹介者は本人を除きます。
③お二人様（ご新郎・ご新婦）でお一人様の紹介とします。
④ご紹介者がお二人以上の場合は、先着を優先とします。
⑤婚礼エージェントご利用以外とさせていただきます。
※なお、記念品はご紹介者様にお選びいただきます。
お申し込みはこちらから→

HOTEL GRAND HILL ICHIGAYA
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1 https://www.ghi.gr.jp E-mail：salon@ghi.gr.jp
ブライダルサロン直通 TEL 03-3268-0115 〔受付時間〕平日 10:00～18:00 土日祝 9:00～18:00 〔定休日〕火曜日